

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)九州新工場計画	階数	地上3F
建設地	福岡県福岡市東区箱崎心頭六丁目	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	600 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年6月30日
敷地面積	20,353 m ²	作成者	(株)安藤・間一級建築士事務所
建築面積	10,182 m ²	確認日	2022年6月30日
延床面積	22,430 m ²	確認者	(株)安藤・間一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.2

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合	予算内で可能な環境配慮、省エネルギーに寄与する。	
その他		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
	階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	既存樹木を保存するなど、生物環境の保全に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	OAフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	駐車場を確保し利便性に配慮、管理用車両の駐車施設を確保するなど、交通負荷の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される